



重伝建補助事業修理見学会行われる

この修理見学会は小浜市と若狭町が合同で行い市民参加は自由でありました。

11月28日（土）大原会館にて、小浜西組と若狭町熊川宿に視察に来られた文化庁の清永調査官の「重伝建事業の概要」と題して講演があり、その後小浜飛鳥区の修理家屋3棟と若狭町熊川宿の修理家屋4棟を見学するスケジュールでした。

清永調査官の講演のなかで“家屋が傷んだから修理するのではなく、修理を大きなチャンスと考える。それが固有性を高めることになる。修理の繰り返しは悩みは尽きないが、将来に続く町づくりになる。住民がその気にな



文化庁清永調査官

なって頑張ることが大事です。”と話されたことが印象に残りました。

その後、小浜飛鳥区の修理家屋3棟を見学し、修理の終わっている1棟を見て、格子の色も隣家とは違って、小浜らしさがでていてとてもいいと感じました。

そして場所を移して熊川宿の今年の修理が終わっている4棟を見学し、設計をされた方の説明をききました。



講演をきく市民のみなさん

熊川宿は街道沿いに間口の広い形式の違う建物が立ち並び、熊川宿のよさを感じました。また、大屋根の上に、いろりの煙り抜きのための越屋根こしやねがあることに気づき、地元の方に説明をしていただいて理解しました。熊川宿は散策をしていても適所にお土産屋さんあり、休憩所ありで、いろいろ楽しむことができます。選定されてから13年目ということで、道路も整備されていて、小浜西組も10年後～13年後はどんな風になっているかなと夢をふくらませた次第です。



熊川宿での説明



岐阜県美濃市視察研修に参加して

美濃伝建地区（うだつの上がる町並み） 視察研修旅行に参加して

内藤 武夫（小浜香取）



視察研修に参加されたみなさん



和紙で作られた行灯

美濃古来の和紙の産地として栄えた古き町並み、まさに伝統的建造物群保存対象物件、うだつの上がる町並みで、各家々が現在でも立派に保存されていました。10年以前に重伝建に指定されたとのこと、正真正銘たる物件の保存で、立派な町並みでありました。

町全体各お店は和紙を利用した間口の広い商屋で、古い時代、豊かな生活様式で、屋内各部屋の間取りも贅沢に作り、お庭等大変立派で見ごたえのあるものでありました。特産和紙で作った行灯の配置の目配りも大変結構でありました。

現在の町並み景観保存事業として、過去3カ年にて9億円も投じ、道路の他、電線地下埋設事業を終えたそうで、立派に景観が保たれておりました。

“うだつの上がる町並み”を視察して

藤本 新一（小浜津島）

美濃町は武将「金森長近」の城下町で、江戸時代を通じて、和紙を中心とした商業地として繁栄しました。

保存地区は東西方向の二筋の街路と、南北方向の四筋の横町からなる目の字型の街路からなり、主な家屋は妻面に立ち上がつ



下屋庇上に設けられた辻堂風

たうだつ、多彩な格子やむしこ窓、正面下屋庇上に設けられた辻堂風もしくは箱型の火防神などの意匠や造形に特徴があり、重要文化財の旧今井家住宅、小坂家住宅等々の諸家が歴史的景観を良く伝えています。小浜西組より約10年早く指定になり、面積は約半分ながらよくまとまっています。



うだつの上がる町並み

小浜は江戸後期から明治中期の火災により古い商家はほとんど残っていないし、後瀬山城跡、武田氏館跡の整備等、財政的に修復期間は長期間を要し、また小浜らしい町づくりが今後の課題であると思います。

名称	美濃市美濃町	小浜西組
種別	商家町	茶屋町 商家町
面積	9.3ha	19.1ha
所在地	岐阜県美濃市	福井県小浜市
選定年	平成11.5.13	平成20.6.10

小浜西組～寺社巡り～⑦（続）

みょうこうじ

妙興寺の7つの不思議

1. 寺の宝とされている刀のこと

日像菩薩との法論にやぶれた明覚^{みょうかく}は、日像を襲い、刀で切りつけたところ、法華経の守護神である三十番神が現れて、明覚は身動きができなくなり、法華経の徳に恐れをなし、日像の弟子になり、その刀が番神丸と名付けられ宝剣とされました。

2. 金剛神堂に祀られている金剛神像のこと

どろぼうが金剛神像を盗み、背負って逃げる途中、金剛神像は次第に重くなり、運び出すことができなくなり、金剛神像は



妙興寺山門

盗難を免れました。

3. 大火に焼け残った三十番神のこと

小浜に大火があった時、火はお寺にせまってきましたが、三十番神から水が出て類焼を免れました。

4. 鑄直した梵鐘^{ぼんしやう}のこと

梵鐘がひび割れ^{いなお}して鑄直したとき『後瀬山妙興寺』と銘を入れたところ、周囲のお寺から「後瀬山はみんなの山なのに妙興寺が山号にするのはけしからん」と抗議があったが「この寺ではこうらいさんと読む」と回答して難をのがれたということです。

5. 土蜘蛛の精が住んだ雲井の滝つぼのこと

境内の滝つぼに土蜘蛛の精が住み、恐ろしい姿に化けて人々を悩ませたが、妙興寺の高僧が法華経を念じて退散させました。

6. 裏山の竹やぶに現れた大蛇のこと

寺の僧が人に害を与えてはいけないと法華経の守護神を引受け「清正公堂^{せいしょうこうどう}」を建て大蛇の難を封じました。

7. 寺の入口近くにあるお墓のこと

この墓を移動すると祟りがあると伝えられていて、今もそのまま残されています。

4の『こうらいさん』についてお尋ねすると、「そのように読んだのはこの時だけで、それ以前も以後ものちせざん妙興寺です。その時の逃げ道だったのでしょう」と佐々木住職は話してくださいました。



現在の清正公堂

小浜西組町並み協議会からのお知らせ

* 町並み保存資料館の開館時間変更のお知らせ *

期間：平成21年12月2日（水）～平成22年3月31日（水）

時間：午前10時～午後4時

* 年末年始の町並み保存資料館休館日 *

平成21年12月28日（月）～平成22年1月5日（火）

協議会では皆様からのご意見、ご質問、投稿など受付けております。

よりよい町づくりの参考にしていきたく思いますので資料館までお寄せ下さい。又、企画展なども募集中です。

次年度もこの月報で情報を発信していきますので、よろしくお願い致します。

